

香川県塩田跡地総合開発調査報告書（昭和47年（1972年）3月）



昭和46年（1971年）4月、第4次塩業整備事業によって、塩田は廃止となり、イオン交換膜による製塩が行われるようになった。昭和46年度香川県塩田転用対策協議会（会長 香川県知事 金子正則）の調査委託を受けた国土計画協会香川県塩田跡地総合開発調査委員会が塩田跡地の利用計画を検討するために現地調査や、アンケート調査を行った報告書である。

（SA001587）